

2026年2月5日



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

(2025年4月～2025年12月)

komatsumateRe

小松マテーレ株式会社

1) 2026年3月期 第3四半期 決算の概要

2) 2026年3月期 業績見通し

2026年3月期第3四半期 決算概要

(単位：百万円)

項 目	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	増 減	
			金 額	増減率 (%)
売上高	29,529	30,601	1,071	3.6
営業利益	1,935	1,920	△15	△0.8
経常利益	2,451	2,484	32	1.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,665	764	△1,900	△71.3

一株当たり純資産	998.17円	1,007.34円
一株当たり当期純利益	66.54円	19.52円

期中平均為替 レート	USD	152.64円	148.71円
	EUR	164.89円	171.83円

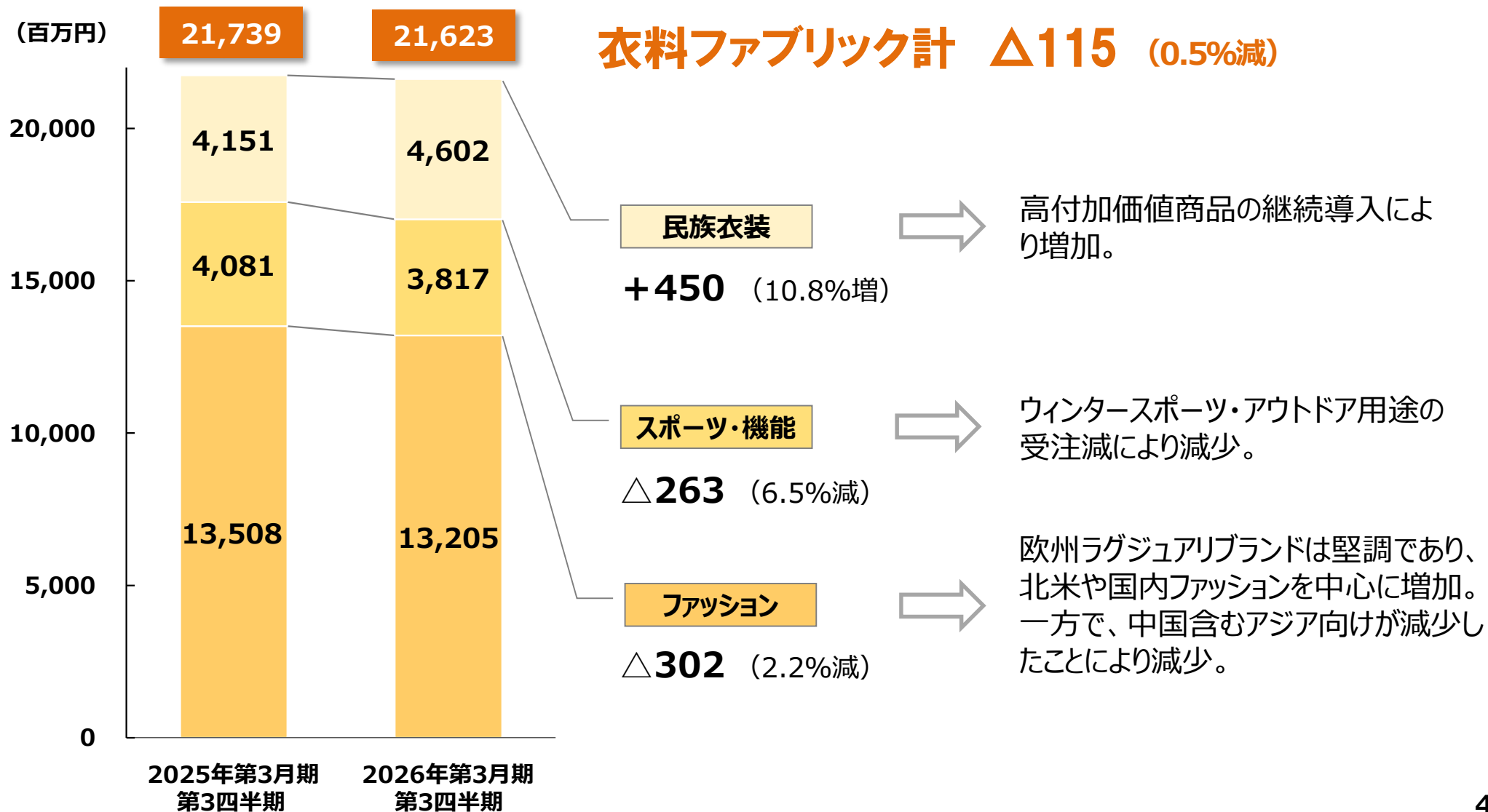
(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	29,144	30,226	1,082	3.7	1,885	1,875	△10	△0.5
衣料ファブリック	21,739	21,623	△115	△0.5	1,798	1,696	△102	△5.7
資材ファブリック	6,297	6,563	266	4.2				
製品部門	1,108	2,040	932	84.1	87	179	92	105.7
その他の事業	385	375	△9	△2.6	50	45	△5	△10.0
合計	29,529	30,601	1,071	3.6	1,935	1,920	△15	△0.8

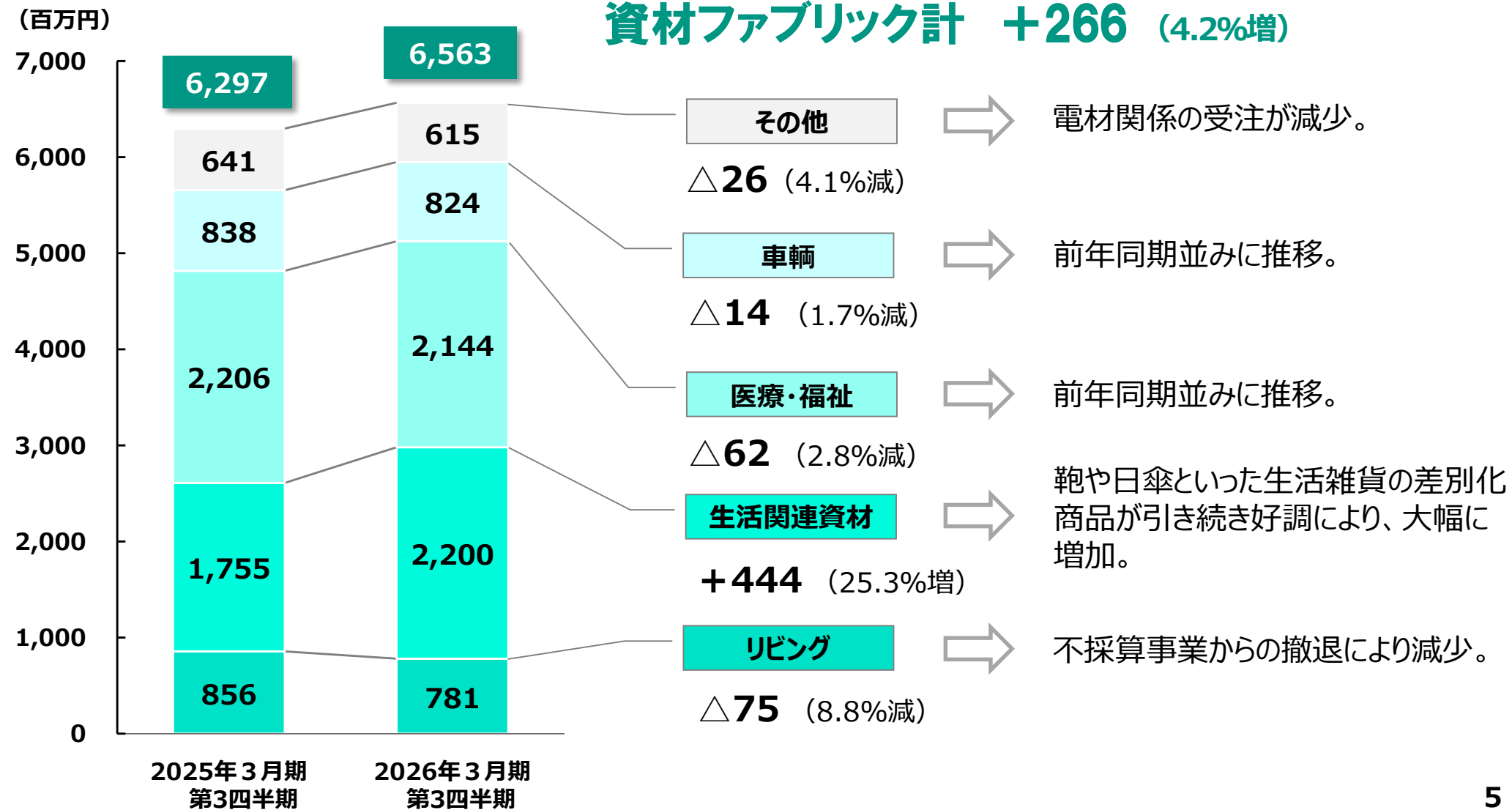
<コメント>

- 衣料ファブリック
欧州ラグジュアリーブランド向けファッションは堅調に推移し、国内ファッションや中東民族衣装は増加。
一方で、中国等のアジア向けのファッションや、スポーツ・機能分野の受注減があり、全体として減少。
- 資材ファブリック
不採算事業から撤退したものの、生活関連資材分野が大幅に増加し、全体として増加。
- 製品部門
連結子会社化により事業範囲が拡大したことから増加。

繊維事業（衣料ファブリック部門）

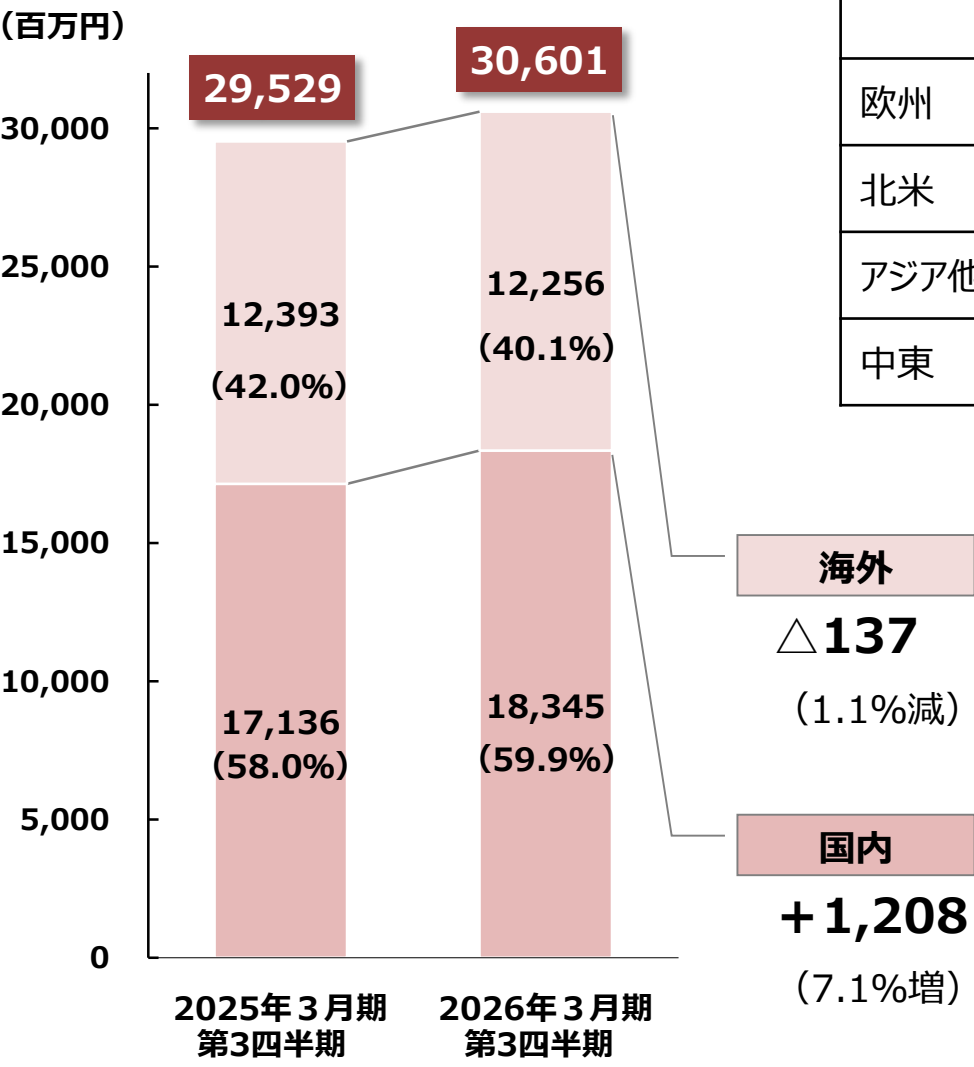


繊維事業（資材ファブリック部門）



市場別売上高（国内・海外）

（単位：百万円）



	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	2,671	2,474	△196	△7.4
北米	3,683	3,829	145	4.0
アジア他	2,122	1,639	△483	△22.8
中東	3,916	4,312	396	10.1

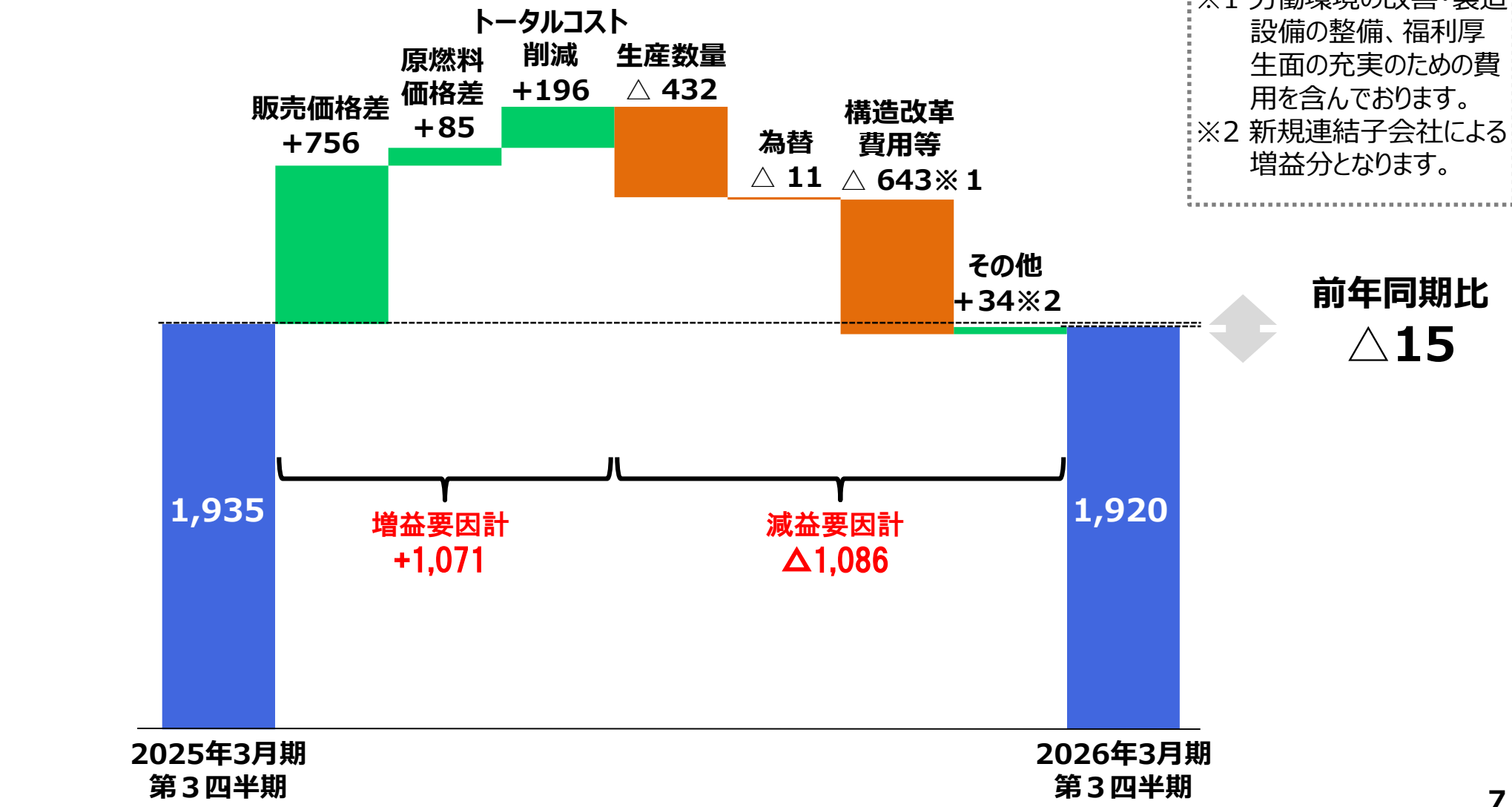
＜コメント＞

- 海外市場
 - ＜欧州＞ ラグジュアリーブランド含むファッションは堅調に推移したものの、スポーツが減少。
 - ＜北米＞ カナダ向けのファッションが引き続き増加。
 - ＜アジア他＞ 中国向けカジュアルファッションが大幅に減少。
 - ＜中東＞ 高付加価値商品の継続導入により増加。
- 国内市場
 - 生活関連資材や衣料ファッション分野が増加。

営業利益増減分析

(単位：百万円)

※1 労働環境の改善・製造設備の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。
 ※2 新規連結子会社による増益分となります。



1) 2026年3月期 第3四半期
決算の概要

2) 2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

項 目	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率（%）
売上高	39,526	41,000	1,473	3.7
営業利益	2,181	2,650	468	21.5
経常利益	2,838	3,200	361	12.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,934	1,400	△1,534	△52.3

一株当たり当期純利益	73.42円	35.33円
------------	--------	--------

期中平均 為替レート	USD	152.62円	145.00円
	EUR	163.88円	153.70円

※当期業績見通しについては直近の公表の業績予想から変更ありません。

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。